平成 31 年度市民団体活動支援補助金 中間ヒアリング結果

◎…よくできている ○…おおむねできている △…一部できていないところがある

団体名	しろいワクワクひろば	白井健康元気村	防災リアル訓練 in 桜台実行委員会
補助金の種類	活動促進型(採択額7万円)	活動促進型(採択額7万円)	活動促進型(採択額7万円)
事業概要	[事業名] 多世代交流型 子ども農園・子ども食堂事業 [事業目的] 多世代相互の交流を通じて、子育てを応援するととも に、高齢者の閉じこもり予防を図る。 [内容] 子ども食堂、野菜の収穫、各種団体との交流 など	[事業名] 高齢者の心身の健康維持に資する「健康教室」「終活教室」 [事業目的] 教室の開催により、市民の健康管理能力や生活能力を高める。 [内容] 年4回の「健康教室」および年2回の「終活教室」の開催	[事業名] 防災リアル訓練 2019 in 桜台 [事業目的] 防災に関する多彩なプログラムを企画、被災時に必要な知識 の習得・体験を行うとともに集団避難生活を想定した宿泊体 験を行う。 [内容] 9月21日から1泊2日の宿泊防災訓練の実施
補助事業の進捗事業について、計画通りに事業は進んでいるか	月に1回、子ども農園や子ども食堂を実施している。 白井コミセン、小中学校、保育園、自治会にチラシを配布しているが、参加者が少ない状況のため、今後は SNS 等を活用した周知方法を検討したい。 今後は地区内の福祉施設等との交流を図る。	〇 ・ 月2回必ず会議を行い、計画どおり実施している。 ・ 参加人数が毎回50人前後で、当初予定していた150人程度までは集まっていないため、今後はPR方法を見直す。	●
補助金の活用状況 について計画通り に活用しているか	予算どおりに執行できている。月1回の会議において、予算額をもとに子ども食堂の内容 (料理など)を検討している。	●・ 予算どおりに執行できている。・ 昨年度に引き続き村民税(会費)を集め、活動資金に充てている。	市の補助金に加え、協賛金を多くの団体からもらい、活動している。 協賛金は、各団体1万円をもらった後、支出規模に合わせて返金しているため、今後規模が拡大しても対応可能。
市民活動推進委員 からの 審査コメント 【要旨抜粋】	 【審査コメント】 ① 地域に根差した市民活動のモデルとなるような良い事業と評価します。 ② 地区社協、市健康課のほか多様な地域団体と連携し、事業に取り組んでください。 ③ 安全や衛生面に注意しつつ、子ども、高齢者、障がい者、外国人など、色々な人が参加・交流できるよう積極的に取り組んでください。 	【審査コメント】① 市民の関心が高く、介護予防、健康増進に資する良い事業と評価します。② 今後は、補助金以外の財源(参加費の徴収など)を検討し、団体の自立性を高めてください。	 【審査コメント】 ① 全国的にモデルになるような先進的な事業と評価します。 ② 徐々に地域への広がりをもたせ、後継者を育てながら、事業を継続・発展させてください。 ③ 補助金を活用し、団体の活動をよりステップアップできるよう生かしてください。
対応について	②地区社協に加え、自治会(白井自治会)の協力を得ながら 活動している。 ③地域の外国人の子どもやそのお母さんも子ども食堂に 参加している。	②団体として離山児童公園、大山口児童公園、北ノ下児童 公園の管理作業を市から受託し、自主財源の確保に努めて いる。	①今回の補助金で活動に弾みがついたため、今後も事業内容を充実させていく。②昨年度から協力団体は増えた。(6→9 団体)③実行委員会の人数が増えてきたため、今後は実行委員会の上部組織(役員会)を検討している。
団体活動の活性化 と自立の課題 について	・ 会員は全員仕事をしながら活動しているため、限られた時間の中でできることから進めていきたい。・ 来年度市民団体活動支援補助金【活動発展型】を申請予定。	・ 公園の管理作業委託を引き続き行い、財源確保に努める。・ 団体の PR を工夫し、適宜行う。・ 来年度市民団体活動支援補助金【活動発展型】を申請予定。	お金の管理上、単年度で清算をしているが、継続的な活動のためには別の方策を考える必要がある。来年度市民団体活動支援補助金【活動発展型】を申請予定。
今後の展望について	・ 10 年後には、常時子ども食堂を運営できるような活動状態にしたい。	・ 「健康教室」と「終活教室」の内容を充実させて、多くの市民の参加を募り、活動理念を広く発信していく。	・ 今後は「イベント性(楽しさ)」と「訓練の効果」のバランスをとった防災訓練を実施したい。

団体名	白井防災ママJUMP	ふじ元気ひろば	ステップ
補助金の種類	活動促進型(採択額7万円)	活動発展型(採択額 17 万円)	活動発展型(採択額 16 万円)
事業概要	[事業名] ママがすすめる共助のまちづくり [事業目的] 地域のつながりを強化しながら震災への備えを行い、ママを 中心とした地域住民がより安心して生活し、災害時に共助が 出来るまちづくりに貢献する [内容] 防災ノートなどの作成及びお話し会の実施	[事業名] 子ども・子育て世代・高齢者・障害者等への支援交流事業 [事業目的] 世代間交流、子供の居場所づくり、食育 など [内容] 市の子どもから高齢者との季節野菜の栽培や元気食堂の提供	[事業名] 学習支援 [事業目的] 経済的な理由等で支援が必要な子どもへの学習支援 [内容] 市内中学生に対し、少人数指導による学習指導
補助事業の進捗事	Δ	0	0
業について、計画 通りに事業は 進んでいるか	お話し会は1ヶ月に1回ペースで実施できている。当初計画していた防災ノートなどの作成が進んでいないため、下半期に集中して取り組みたい。LINE などを活用して、うまく会議日程を調整したい。	・7月の雨でプール遊びを中止した以外は予定どおり実施。・今後も予定どおりに活動を行い、特に12月開催予定のクリスマスフェスタについては、地区社協や冨士センターと協力して実施していく。	・ 昨年度に加え、七次中・白井中の生徒が加わった。(桜台中以外全て)→活動周知の広域化が進んだ。・ 中学生を中心に、日々の学習支援から受験対策まで行っている。
	0	0	0
補助金の活用状況 について計画通り に活用しているか	防災ノート関連以外の補助金については、当初予定どおりに活用できている。予定では防災ノートを1冊100円で頒布する予定であったが、防災のPRに力を入れるため、今回は無料で配布することを検討している。	・ 活動も3年目を迎え、集客の加減が分かるようになってきたため、予算執行に大きな乖離はない。・ 食べ物やお土産などの有無で集客の差が大きいため、予算の範囲内で工夫して事業を進める。	・ 大学生講師が1人もいないため、その部分の予算執行が滞っている。・ 大学生講師の確保について、特にPR活動などを行えなかったので、下半期は確保するよう工夫したい。
	[審査コメント]	[審査コメント]	[審査コメント]
市民活動推進委員からの審査コメント【要旨抜粋】	① ママ目線で防災に取り組む良い事業と評価します。② 事業でできた成果物や講座を、広く市民に広げていき、1人でも多くのママ・パパたちに情報提供してください。③ 現メンバーでの活動を外部に発信し、新しい仲間や支援者を積極的に巻き込む活動をしてください。	① 地域に根差し、多世代を巻き込んだ良い事業と評価します。② 民間の助成金や寄付など団体の自立を目指し、新たな財源づくりの検討を進めてください。③ 団体の会計や広報、ネットワークづくりなど、活動を継続していくための組織作りも視野に入れて活動してください。	 ニーズをとらえた地道な活動が大きな成果につながっており、良い事業と評価します。 今後は活動場所の確保に向けて団体として市などに具体的な働きかけを検討してください。 各大学のボランティアセンターや地域連携窓口などに問い合わせし、大学生などの講師人材の確保に努めてください。
対応について	②防災ノートやパンフレットを下半期の早い段階で作成し、お話し会などで配りたい。 ③現在の実働メンバーが3人であるため、FacebookでのPRに力を入れ、協力メンバーを増やしたい。	②日本生命財団から約42万円の補助を受け、「ふじ元気ひろば」の活動をより幅広いものにしている。 ②こどもの未来応援国民基金に今年も応募予定。 ③第三小学校区まちづくり協議会設立準備会に参画し、様々な団体と協力できるよう努める。	②URから活動場所の提供と補助金の打診があった。活動場所については、駐車場の兼ね合いから活用が難しいが、補助金については来年度に利用しようかと考えている。 ③市内に住む大学生に協力をお願いしたいため、市などに情報提供を求めていく。
団体活動の活性化 と自立の課題 について	子育てしながらの活動は時間がなく難しいため、LINE 中心のコミュニケーションとなっているが、どうしても伝わり方に齟齬が発生することがあるので、工夫したい。子どもを事前に預け、活動できるような体制を構築したい。	野外活動のボランティアが少ないため、今後協力してくれる人を募集する必要がある。「まちづくり協議会」の出方を見ながら、屋上屋を重ねないような活動を行う必要がある。	来年度の補助金のお話をいただいているが、長期的な目線で考えると、別の資金対策が必要。駅前センターの事業として実施するのであれば、場所と資金の問題も解決するため、検討したい。
今後の展望について	活動を定着させ、イベント(ふるさとまつりやときめきマルシェ等)とコラボレーションした事業を行えるようになりたい。	・ 第三小学校区に立ち上がるまちづくり協議会の中で、活動 を行っていきたいと考えている。	・ 引き続き活動を続けるとともに、市が学習支援の事業を行 う際の「ステップ」となりたい。